



竿燈まつり 秋田県

編集後記

協会誌『大地』発行・編集

昨年は「技術フォーラム2014 秋田」にお忙しい中、沢山の方にはこびいただきまして有難う御座いました。”ジオ・アドバイザーの役割”と言うメインテーマでしたが、各位の多様な発表内容を見るに付け、地質調査業の可能性の広大さを感じさせられました。

今号の「大地」ではこの技術フォーラムの内容から『特集』はフォーラムの様態と基調講演を頂きました秋田大学 佐藤国際資源学部長様の寄稿を、『技術報告』では、優秀技術発表者賞受賞者の中から6編を掲載しました。また連載の『おらほの会社』ではフォーラムを中心となって盛り上げて頂いた秋田県内の会員企業様の中から奥山ポーリング株式会社様をお願いしました。『現場のプロに聞く』については、男鹿半島ジオパークでガイドをされている小野金弘様にお話を伺っております。

未曾有の災害と言われた先の震災から4年になりますが、昨年豪雨、地震、火山を始め多く災害が発生し、たくさんの方が被災されました。それらの状況を見聞きするに付け、調査・対策により減災が可能だった部分も多々あるように思われ残念でなりません。

今年は第三回国連防災世界会議が仙台市で開催され、関連のシンポジウムやセミナーが太平洋岸の4県で開かれます。有数の災害大国である故に防災先進国である我が国の経験と教訓を世界に発信するとともに、国内でも産学官とそして住民のそれぞれの立場でもう一度災害に対する備え等を見直していく機会になればと思います。

最後になりますが、ご多忙の中執筆いただきました皆様に心から御礼申し上げます。また50周年記念事業で特集させて頂きました「最新 東北の地質」を合冊し技術フォーラムの会場にて記念配布させて頂きました。著者の諸先生方に今一度感謝するとともに、東日本大震災からの地域復興の担い手を育てる国際教育プロジェクト「OECD 東北スクール」への支援活動に賛同し寄付を頂いた皆様方にこの場を借りて御礼申し上げます。

(広報委員会 野田牧人)

『大地』55号 平成27年2月28日発行

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

東北地質調査業協会 広報委員会

編集責任者 熊谷 茂一 真坂 康晴

昆 孝広 彦坂 茂

庄子夕里絵 羽生田 宏

内海 実 野田 牧人

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目1番8号

(パルシティ仙台1階)

TEL 022-299-9470 FAX 022-298-6260

e-mail:tohoku-geo@nifty.ne.jp

http://www.tohoku-geo.ne.jp

印刷 ハリウコミュニケーションズ(株)

TEL 022-288-5011 FAX 022-288-7600